

文化活動の状況

Ⅲ 文化活動の状況

ここでは、市民会館・公民館、図書館、体育館及び屋外体育施設を除く社会教育の諸活動を述べます。この分野には社会教育全般の事務と文化財関係、青少年健全育成関係の事務事業があります。

1 奨励・援助

市民が行う社会教育の活動に対して、要望に基づいて各種の援助を行いました。

(1) 社会教育関係団体の状況

分類	団体名	責任者	会員数	組織及び活動
少年団体	ボーイスカウト ガールスカウト 福生市連合育成会	森田 治男	285人	ボーイスカウト福生第1団 " 第2団 ガールスカウト東京191団 ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊、 シニア隊、ローバー隊 訓練活動(キャンプ)奉仕活動等
成人団体	福生市文化協会	小林 菊三	3,663人	加盟団体128 市民文化祭、文化教室、発表会 文化団体の育成活動補助
	福生市公立小中学校 PTA連合会	渡邊 一成	5,290人	加盟団体 10 球技大会、講演会 非行化防止パトロール
	福生市体育協会	斎藤 翼	4,307人	加盟団体24 市民総合体育大会、都民体育大会 各種スポーツ大会

2 第31回市民文化祭

(1) 趣旨

ア 市内で行われている文化諸活動の成果の発表の場を作り、今後の発展を図る。

イ 未参加者の文化活動への参加、各種活動の育成を促す。

(2) 主催

福生市、福生市教育委員会、福生市文化協会

(3) 実行組織

実行委員会構成

ア 文化協会役員

イ 出展、出演団体の代表者

ウ 教育委員会社会教育課、市民会館・公民館職員

(4) 期日

10月28日(土)・29日(日)・11月3日(祝)・4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日)・17日(土)

(5) 場所

展示関係 市民会館、公民館、市民会館前庭

演示関係 市民会館大・小ホール、公民館、さくら会館、福庵

(6) 運営方針

ア 同一種目については主管団体が処理する。

イ 個人及び団体、一般からの出展・出演については、すでに主管団体があるものはその団体が、新種目を行う団体はその団体が主管し、個人のものは教育委員会が主管する。

(7) 参加内容の限定

ア 市民の活動であること。

イ 市民を対象とした文化事業であること。

(8) 参加対象

全市民(在住、在学の個人及び団体)とし一人一点に限定

(9) 全般的事項

ア 文化祭実施要綱の決定

イ 開場式 10月28日(土)午後1時～

市民会館小ホール

ウ 準備過程

(ア) 広報

a 公募5月1日発行の広報ふっさ

申込締切5月31日

b 日程内容の周知

広報10月15日号

ポスター10月初旬

c プログラム5000部

(イ) 案内状 総合プログラムといっしょに実行委員会で送る。

主管団体毎の招待状は各団体で行う。

(ウ) 主管団体必要物品

a 指定様式に記入提出

b その他必要品

(エ) 役員、実行委員を委嘱する。

(オ) 委託料の交付880,000円

(10) 実行委員会日程

第1回 6月15日(木) 午後7時30分 市民会館第5集会室
第2回 6月28日(水) 午後7時30分 市民会館第5集会室
第3回 7月 7日(金) 午後7時30分 市民会館第5集会室
第4回 9月26日(火) 午後7時30分 市民会館第5集会室
第5回 12月 8日(金) 午後7時30分 市民会館第5集会室

(11) 実施内容

平成12年度参加団体

演示 159団体 内行政関係3団体 個人 3人

展示 62団体 内行政関係1団体 個人 6人

計 221団体・個人9人

※ 期間中の延べ参加者数4,271人

3 成人式

趣旨 新たに社会の仲間入りをする成人者を祝い、励まし、成人者が改めて成人する意味、意義を確認しあう場とする。また今後、社会の担い手として、独立した主体者として生活していくための機会とする。

主催 福生市、福生市教育委員会

日時 平成13年1月8日 開式午後1時30分

場所 福生市民会館大ホール

実施内容 式典・開式、国歌斉唱、主催者挨拶、祝辞、来賓紹介、主催者紹介、祝賀演奏、
成人者代表による謝辞、たる酒鏡開き、福生市の歌

演奏・福生吹奏楽団

集い(実行委員による企画)・立食パーティー、映画会、記念写真コーナー、

小・中学校の時の卒業写真展示

出席状況

区 分	男	女	合 計
対 象 者	371人	349人	720人
出 席 者	239人	218人	457人
出 席 率	64.4%	62.5%	63.5%

4 社会教育委員の活動

社会教育委員

社会教育委員制度は、社会教育法第15条に基づいて設置された市民参加の審議機関であり、当市では昭和37年以来、任期2年定数10名で構成されています。各委員は社会教育全般にわたり調査、研究、計画の立案及び教育委員会からの諮問に、市民の立場から教育長を通じて教育委員会に答申します。

会議等開催状況

開催日	場所	会議名	内容
平成12年4月15日	東京都立多摩社会教育会館	市町村社会教育委員連絡協議会定期総会及び全体研修会	平成11年度事業報告・収入支出決算報告 平成12年度事業計画・収入支出予算 " 役員選出 講演 『これからの社会教育委員の役割と活動は』 東京家政大学教授 伊藤俊夫氏
6月16日	扶桑会館	社会教育委員の会議	平成12年度社会教育関係団体補助金外
9月2日	青梅市立美術館	都市社連協第一ブロック研修会	主題 21世紀にむけての社会教育の役割 副題 文化を活かしたまちづくり 講師 青梅市文化団体連盟理事 酒井正雄氏
10月3日	中央体育館	社会教育委員の会議	文化祭について 青少年意見発表大会について
10月18日～19日	宇都宮市	関東甲信越社会教育研究大会	主 題 「21世紀における社会教育を求めて」 分科会 「生涯学習とまちづくり、家庭教育・青少年教育、人権と国際理解・交流、環境保全と地球理解、ボランティア、生涯スポーツ・文化活動」
11月11日	小平市文化会館	都市社連協交流大会	主 題 「21世紀にむけての社会教育の役割」 分科会 「心の中にふるさとを」 講 師 堀内敏宏氏
12月6日	町田市子供センター	社会教育委員日帰り視察研修	子供センターの視察
平成13年2月3日	東京都立多摩社会教育館	市町村社会教育委員連絡協議会全体研修会	インタビューダイアローグ 「リスクを冒さなくなった若年層」 講 師 早稲田大学教授 長谷川真理子氏 聞き手 日本教育新聞社報道部長 矢吹正徳氏
2月16日	市役所3階委員会室	社会教育委員の会議	平成13年度社会教育計画(案)について " 社会教育関係予算(案)について

5 生涯学習について

福生市生涯学習推進計画に基づき、「市民が学ぶ楽しさに気づき、学習活動に意欲的に取り組み、学習成果が多様な分野で生かされ、ゆとりと生きがいのある生活を送れる社会、さらに文化がはぐくまれ、一人ひとりが健康でいきいき輝く社会」となるよう努力をしてきた。公民館、図書館、体育館、屋外体育施設等の社会教育施設は、中心となってその課題を担うものとして計画的に活動してきた。

6 文化財保護事業

本市では、昭和48年に文化財保護条例を制定し、その後、昭和54年の改正によって文化財保護行政の充実と強化をはかってきたが、さらに平成3年4月1日から登録文化財制度の導入を行い、より多くの文化財を保護するための行政の推進をはかっている。その結果、平成12年度末では、市登録文化財は60件となった。この市登録文化財の中から、特に学術的にすぐれている貴重な文化財を市指定文化財として保護しているが、12年度では、市指定文化財は32件となっている。

文化財保護行政の役割は、文化財を文化遺産として後世に伝えるという保存事業と文化財保護思想の普及、さらに市民が文化的向上に資するための資料として活用するという活用事業に分けることができる。これらの事業は、市民一人一人の保護意識が高揚してはじめて成果のあがるものであり、そのため、文化財保護の理解の推進と文化財の活用を目的として様々な学習の機会の設定に取り組み実施した。また、日々進行する地域の開発・都市化とそれに伴う生活様式の変化による文化財の変容と消失が進むなかで、文化財総合調査を行い、所在の確認と記録の作成を行った。

市史の普及事業も文化財保護行政の一つとして実施しているが、平成7年度より市史編纂事業で作成した刊行物（市史本編・上下2巻、資料編・考古ほか10編及び研究誌・17号まで）、さらに市史編纂で収集した近世文書ほかの文献類、マイクロフィルム（179,650コマ）などの保存と管理、刊行物の頒布、情報提供等の業務を実施している。12年度は管理業務、情報提供業務をすすめる一方、普及事業として「市史に関する学習会」、「史跡見学会」等を開催して市史の普及と活用を推進した。

郷土資料室は、文化財保護思想普及の場としての展示活動、文化財保管の場としての文化財の収集、そして収集した資料を情報として市民への提供等の活動を行っている。特に、収集した資料の保管を適正に行い、また、学校教育、社会教育への提供、さらに市民、研究者への情報の提供をより迅速に行えるようコンピューターによる資料管理を推進し、資料の活用として特別展示等を開催している。

平成12年度は市制30周年・郷土資料室開設20周年記念事業として、特別展、記念講演会をそれぞれ5回開催した。また、無形民俗文化財記録映画(ビデオテープ30分)を製作した。

(1) 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、市教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、並びにこれらの事項について委員会に建議するために8人の委員が委嘱されている。

(任期 平成11年7月1日から平成13年6月30日まで)

会議の開催

平成12年8月26日

ア 福生市総合計画について

イ 史跡調査の状況について

ウ 無形民俗文化財保存記録映画制作の進捗状況について

エ 特別展の開催状況について

オ 刀剣(赤羽刀)研磨の進捗状況について

カ 熊川神社本殿の保存事業(修理)について

平成13年3月24日

ア 平成13年度文化財保護事業計画について

イ 特別展の開催状況について

ウ 無形民俗文化財保存記録映画について

エ 刀剣研磨について

(2) 文化財保護事業の実施状況

ア 文化財総合調査事業の実施状況

古文書調査 ー 古文書の整理・分類・調査員 峰岸秀雄氏(郷土資料室調査員)

民俗調査 ー 伝統的な衣生活調査(森田家寄贈ほか)・調査員 萩原紀子氏(郷土資料室臨時職員)

民具調査 ー 郷土資料室収蔵の民具を調査・調査員 岡部悦子氏(郷土資料室臨時職員)

イ 出版物

郷土資料室年報「20号」 500部

特別展示史料解説書 「森田浩一とその時代」 500部

ウ 玉川上水に発生するホタルの研究委託

昭和46年度以来、玉川上水に自然発生するホタルの研究を福生ホタル研究会に委託している。12年度も引き続き研究を委託した。

(3) 郷土資料室の事業実施状況

ア 資料の収集（購入・寄贈）

購入—古書籍等 11件 48点

寄贈—ミキノクチ等 2件 21点

イ 資料の消毒

郷土資料室内収蔵庫（第1、第2）内の消毒を業者委託により、6月19日に行った。

消毒の概要は次のとおりである。

場所 第1収蔵庫（98.3m²）、第2収蔵庫（27.1m²）文化財倉庫（127.5m²）

対象資料及び目的 民俗、歴史、美術、自然資料の殺虫、殺菌、殺卵等

ウ 展示、学習会等の教育普及事業

平成12年度は市制30周年・郷土資料室開設20周年記念事業として、特別展、記念講演会をそれぞれ5回開催した。

(ア) 特別展示

「よみがえる武蔵の国の刀工展 福生市に譲与された赤羽刀」

戦後、連合国軍総司令部（GHQ）により接收されていた刀剣類（赤羽刀）が、公開・活用されることになった。当市では多摩の郷土刀である武州下原刀39本を含む武蔵国製作の刀剣類97本が国から譲与された。その伝統文化と美を伝える刀剣（赤羽刀）を展示した。

期 間 平成12年4月7日から5月7日

記念講演会 平成12年4月15日「福生市に譲与された赤羽刀」

講 師 後藤安孝氏（日本美術刀剣保存協会評議員）

(イ) 特別展示

「西多摩と近代の文人」

森田文庫の資料の中には、西多摩にゆかりのある文人達の資料が多数あり、特に中里介山に関する貴重な資料が多く含まれている。その西多摩とゆかりのある文人と新しい文学である、福生市を題材とした作品を執筆している村上龍や山田詠美の直筆原稿も加え展示した。

期 間 平成12年5月13日から6月11日

記念講演会 平成12年5月20日「村上龍・山田詠美がえがいたわが町福生」

講 師 河 林 満 氏（小説家）

(ウ) 特別展示

「号外にみる戦争～平和のための戦争資料展」

戦争の記憶が薄らいでゆくなかで、昭和初期から戦時下の900点余の号外は、当時の大きな事件や社会情勢を現在に伝える貴重な資料です。当時の社会情勢と平和についての理解のため、号外を中心に、日本が近代に関わった戦争、日清戦争以降太平洋戦争に至る間の様々な資料展も示した。

期 間 平成12年6月27日から10月1日

記念講演会 平成12年7月8日 「福生飛行場と陸軍航空審査部」

講 師 渡辺洋二 氏（航空史研究家）

(エ) 特別展示

「外国のカードとちりめん本」

福生市郷土資料室で収蔵しているちりめん本（明治18年頃から出版され、絹織物のちりめんのような和紙ーちりめん紙ーを綴った本）と同時代の西洋でのグリーティングカードを比較し、その歴史と図柄等に見る東西の交流を鑑賞していただくよう展示した。

期 間 平成12年10月6日から12月3日

記念講演会 平成12年10月28日「絢爛豪華印刷でかざる日常生活ーカードとちりめん本」

講 師 アン・ヘリング氏（法政大学教授）

(オ) 特別展示

「明治・大正期の青年像～森田浩一の学生生活と交友」

期 間 平成13年2月2日から4月15日

記念講演会 平成13年2月10日 「福生の近代を支えた人々」

講 師 金原左門氏（中央大学教授）

(カ) 学習会

文化財保護思想普及学習会

史跡ガイド講座

上級編 （前期）（後期）

市内の史跡や文化財また、近隣市等の史跡・文化財の实地踏査した。

全10回（前期） 平成12年7月12日、19日・8月2日、9日

（後期） 平成12年10月20日、27日・11月9日、16日、

平成13年3月7日、28日

講師 郷土資料室職員

中級編

市内田用水、野火止用水、八王子城、片倉城と絹の道の見学を行った。

全4回 平成12年10月14日・11月25日・12月2日

平成13年3月10日

講師 田中一実氏及び郷土資料室職員

(キ) 出版物

郷土資料室年報第20号 A4判、104頁、500部

展示資料解説書 A4判、305頁、500部

(ク) 市民、団体、研究者等への情報提供、援助、奨励

文化財の保存と活用に関わる学習、研究等を行っている市民、団体及び研究者、また文化財に関する情報を必要とする個人、団体等への情報提供等を行った。

(ケ) 多摩郷土誌フェアへの参加

多摩地域の各市町村が発刊している郷土誌関係の刊行物を一堂に展示して、紹介と普及を図ることを目的として開催するもので、今回で13回を数えた。(主催は多摩27市社会教育課長会)

期 間 平成13年1月26日(金)から28日(日)まで

会 場 立川ターミナルビル「ルミネ」1階マグノリアホール(立川市)

(4) 市史の普及

ア 市史の普及・学習会

福生市史を読む(古代)

多摩の縄文時代と長沢遺跡

平成12年9月9日

講師 和田 哲 氏(昭島市文化財保護審議会委員)

福生市史を読む(近世)

玉川上水開削と古掘伝説

平成12年9月23日

講師 高崎勇作氏(福生市文化財保護審議会委員)

福生市史を読む(近代)

福生飛行場のはじまり

平成12年9月30日

講師 三田鶴吉氏（立川市文化財保護審議会委員）

福生市史を読む（近世）

幕末期の女性労働－熊川村と柴崎村

平成12年10月7日

講師 増田淑美氏（昭島市文化財保護審議会委員）

福生市史を読む（近世）

地方俳諧の流行と森田友昇

平成12年11月11日

講師 安田吉人氏（関東学院短期大学講師）

福生市史を読む（近世）

幕末の八王子千人同心

平成12年11月18日

講師 土井義夫氏（八王子市郷土資料室学芸員）

福生市史を読む会（近世）

薄れゆく年中行事

平成12年12月9日

講師 宮田 満氏（福生市職員）

イ 古文書学習会

古文書の歴史、解説のための学習会を開催した。

全2回 平成13年2月24日・3月3日

講師 高崎勇作氏（福生市文化財保護審議会委員）

7 青少年健全育成

青少年が社会の一員として愛され、良い環境の中で心身共に健やかに成長することを目指し、好ましくない環境の浄化に努めると共に諸施策の推進を図っていく。

(1) 青少年問題協議会

青少年問題協議会は、市長の付属機関であり、青少年の健全育成に関する総合的施策の樹立について、調査審議し関係行政機関の相互連絡調整及び意見等を求める機関です。

委員数27人

日 時	会 議 内 容
7月6日 午前10時から	1 平成12年度福生市青少年健全育成夏季対策事業について 2 平成12年度福生市善行少年表彰について 3 「家庭の日」図画・作文の実施について 4 福生市青少年の意見発表大会の実施 5 福生市青少年問題協議会条例施行規則の改正について 6 関係機関より報告、情報交換
13年2月15日 午前10時から	1 平成12年度福生市青少年健全育成事業計画について 2 青少年問題公演会について 3 関係機関からの報告、情報交換

(2) 青少年問題地区委員長会

地域社会にあって、青少年の健全育成を図るため青少年問題協議会において調整した施策に協力し、地域の実情に応じた事業を実施し、地区委員会相互が連絡・協力して社会環境の浄化を図っていく。

開催日	会議名	会議内容
4月4日	地区委員長会	第9回ふっさ輝きフェスティバル準備、活動報告、活動計画 他
4月12日	理事会	〃
4月19日	地区委員長会	〃
4月27日	理事会	〃
5月10日	地区委員長会	〃
5月17日	理事会	〃
5月20日	前日準備	
5月21日	第9回ふっさ輝きフェスティバル（多摩川中央公園）	
5月31日	理事会	フェスティバルのまとめと反省 役員体制 他
6月3日	地区委員長会	新旧地区委員長歓送迎会 フェスティバルまとめと反省 他
6月14日	地区委員長会	フェスティバルのまとめと反省 環境浄化運動、夜間一斉パトロール 他
6月27日	理事会	環境浄化運動、夜間一斉パトロール 視察研修について 他
7月12日	地区委員長会	〃
8月9日	理事会	〃 軽スポーツ&とん汁会準備 他
8月23日	地区委員長会	〃
8月26日	夜間一斉パトロール（市内全域）	
9月6日	理事会	パトロールまとめと反省 視察研修 軽スポーツ&とん汁会 環境浄化運動 他
9月13日	地区委員長会	〃
9月27日	理事会	〃
10月4日	視察研修（狛江市愛光女子学園）	
10月11日	地区委員長会	視察研修まとめと反省 第8回軽スポーツ&とん汁会準備 環境浄化運動 他
10月18日	理事会	第8回軽スポーツ&とん汁会準備 環境浄化運動 他
10月25日	地区委員長会	〃
10月31日	理事会	〃
11月8日	地区委員長会	〃
11月18日	前日準備	
11月19日	第8回軽スポーツ&とん汁会（多摩川中央公園）	
12月6日	地区委員長会	軽スポーツ&とん汁会まとめと反省 成人式 他
12月15日	理事会	環境浄化運動 成人式 他
1月8日	成人式出席、祝い酒コーナーの実施、新年会	
1月17日	地区委員長会	環境浄化運動 成人式のまとめと反省 他
1月25日	理事会	環境浄化運動 来年度事業計画 他
2月6日	地区委員長会	〃
3月7日	理事会	第10回ふっさ輝きフェスティバル準備 補助金事務手続き 他
3月14日	地区委員長会	〃 〃
3月22日	理事会	第10回ふっさ輝きフェスティバル準備

(3) 青少年問題地区委員会実績

地 区 名	委員数	児童生徒数	主 な 活 動	補助金額
熊川住宅	7	95人	ラジオ体操、もちつき大会ほか	52,560円
南	17	72	夏祭り、ふれあい広場ほか	48,420
内出	22	124	鱈つかみどり、もちつき大会ほか	59,190
武蔵野	43	129	ラジオ体操、もちつき大会ほか	60,230
福東	21	291	ハイキング、もちつき大会ほか	93,800
南田園一丁目	22	124	夏まつり、キャンプほか	59,190
鍋一	12	213	ボーリング大会、もちつき大会ほか	77,640
鍋二	34	266	ビデオ上映会、歩け歩け運動ほか	88,620
玉川台	19	24	ラジオ体操、いもほり大会ほか	38,510
富士見台	8	111	映画会、もちつき大会ほか	56,500
福栄	8	128	ホテルまつり参加、キャンプほか	60,020
熊牛	38	244	ホテル祭り絵画展、バスハイクほか	84,070
南田園三丁目	14	110	自主防災活動、もちつき大会ほか	56,290
南田園二丁目	6	121	ラジオ体操、もちつき大会ほか	58,570
牛一	11	109	夕涼み会、ラジオ体操ほか	56,090
牛二	30	187	かぶと虫の飼育、ラジオ体操ほか	72,250
原ヶ谷戸	28	298	潮干狩り、いもほり大会ほか	95,260
志茂一	29	263	バスハイク、歓送迎会ほか	88,000
志茂二	22	177	ナイター球技大会、茶道教室ほか	70,180
本町一	4	28	祭礼・盆踊り、もちつき大会ほか	39,340
本町二	10	26	球技大会、もちつき大会ほか	38,920
本町三	36	23	祭礼・盆踊り、もちつき大会ほか	38,300
中央	7	35	川遊び、親子運動会ほか	40,790
本町六	16	51	祭礼・金魚すくい、もちつき大会ほか	44,070
本町七	5	216	バーベキュー大会、ラジオ体操ほか	78,260
本町八第一	37	337	バーベキュー大会、もちつき大会ほか	103,340
本町八第二	29	334	もちつき大会、クリスマス会ほか	100,530
武蔵野台一丁目	13	358	ラジオ体操、いもほり大会ほか	107,690
加美平住宅	3	128	青空コンサート、とん汁とゲーム大会ほか	60,020
永田	20	176	キャンプ、ラジオ体操ほか	69,970
長沢	16	184	親子運動会、親子日帰り旅行ほか	71,630
加美一	9	45	防犯映画会、どんど焼きほか	42,820
加美二	20	310	ラジオ体操、どんど焼きほか	97,740
合 計	616	5,334		2,111,000

(4) 平成12年度青少年対策事業

ア 善行少年表彰

福生市善行少年表彰実施要綱に基づき（第一条 少年でその行為が他の模範となると認められるものを表彰し、広く少年の公德心の高揚と、より良き社会環境を作り、少年の健全な育成を図ることを目的とする。）2人に対し表彰を行った。

表彰を受けたのは、松原有岐（福生二中2年）、守本侑矢（福生三中2年）の2名で、表彰事由は、福生消防少年団での社会福祉等の活動である。

イ 「家庭の日」図画・作文募集

「家庭の日」に対する関心を高め、家庭の大切さを訴えるため、市内の小中学生を対象に図画・作文を募集した。入選作品についてはプチギャラリーに展示した。

募集期間 平成12年7月から9月

応募者数 図画 = 247点 作文 応募なし

入選者	図画	一席	松本	都	福生第六小学校4年
		二席	渡邊	智樹	福生第五小学校4年
		二席	清水	麻菜美	福生第七小学校4年
		佳作	図画	25点	

ウ 第7回福生市青少年の意見発表大会

市内の中学生が日常生活を通じて考えていること、体験などを自由に発表することにより、自立心、創造性、社会性を育てる機会とするとともに、広く一般市民が中学生の意識や行動に対する理解を深め、青少年健全育成の充実に資することを目的に実施した。

日 時 平成12年11月3日（祝）午後2時から

場 所 市民会館小ホール

発表者 市内在住中学生・在学高校生16名

発表主題 いじめについて考えたこと、私達が考えなければならないこと、体験から学ぶ、ごみ問題について、僕の姉、友達、世の中の矛盾と意見、少年犯罪について、高齢化社会に思う、友達とFriend、海を越えて体験したこと、障害を乗り越えて受け入れて生きる友、戦争について、心の障害者、今、サッカー

主 催 福生市青少年問題協議会・福生市教育委員会

エ 青少年問題シンポジウム

日 時 平成13年3月3日（土）午後2時から

会 場 さくら会館3階ホール

コーディネーター にしがはちだい（本名 西宮 嗣）氏（元公立小学校校長）

意見発表 市内中学生3名

基調提案 高水 清安氏（青少年問題地区委員会会長）

パネラー 溝渕 幸太郎氏（自治会長）

上瀧 良一氏（地区委員長）

加藤 有孝氏（市職員）

オ 青少協だよりの発行

青少年健全育成のための事業のPR・報告、その他各種の情報提供を行うため、年4回発行した。

カ 青少年健全育成PR用品の配布

「子どもにとって何が最もよいことかを考えます。（子どもの権利条約第3条）」というアピールを刷り込んだ蛍光ペンを各地区委員会を通じて配布した。

キ 第9回ふっさ輝きフェスティバル

「家庭の日」推進・拡大を目指し、実施した。

日 時 平成12年5月21日（日）

場 所 多摩川中央公園

8 集会施設の利用状況

(1) 扶桑会館利用状況

区分 月	集 会 室		和 室		小 会 議 室		保 育 室		合 計			
	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	使 用 料	
											件 数	金 額
4	54 ^件	1,268 ^人	25 ^件	273 ^人	22 ^件	145 ^人	24 ^件	318 ^人	125 ^件	2,004 ^人	21 ^件	26,700 ^円
5	48	767	16	134	19	144	24	255	107	1,300	19	22,300
6	56	967	27	414	20	167	37	389	140	1,937	34	40,400
7	51	1,005	26	386	32	239	35	460	144	2,090	20	25,100
8	50	882	24	357	38	217	21	277	133	1,733	10	14,600
9	52	942	24	306	20	170	24	254	120	1,672	29	35,200
10	52	926	23	290	18	128	33	333	126	1,677	25	19,700
11	47	863	24	324	22	170	31	412	124	1,769	30	34,300
12	44	923	19	225	15	129	25	326	103	1,603	18	20,300
13年1	42	854	16	201	18	146	20	226	96	1,427	29	40,200
2	42	948	21	249	17	170	27	250	112	1,617	20	25,100
3	52	1,033	24	194	15	115	29	347	120	1,689	25	42,800
合 計	595	11,378	269	3,353	256	1,940	330	3,847	1,450	20,518	280	346,700

(2) かえで会館利用状況

区分 月	集 会 室		和 室		小 会 議 室		合 計			
	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	使 用 料	
									件 数	金 額
4	38 ^件	434 ^人	38 ^件	397 ^人	11 ^件	265 ^人	87 ^件	1,096 ^人	16 ^件	15,300 ^円
5	41	332	35	232	8	83	84	647	18	20,100
6	45	496	39	323	15	281	99	1,100	19	25,500
7	41	575	39	539	13	354	93	1,468	15	16,800
8	27	242	29	198	9	130	65	570	10	12,900
9	41	396	34	423	16	250	91	1,069	21	24,000
10	35	243	31	209	7	77	73	529	12	14,100
11	30	300	32	289	5	122	67	711	11	10,200
12	27	359	29	281	3	92	59	732	10	5,700
13年1	24	240	29	254	4	122	57	616	17	18,600
2	33	277	29	211	7	136	69	624	10	11,100
3	36	313	37	291	4	58	77	662	15	17,100
合 計	418	4,207	401	3,647	102	1,970	921	9,824	153	191,400

9 展示施設の利用状況

(1) プチギャラリー利用状況

(建築延床面積 679.45 m²)

区分 月	第一展示室		第二展示室		第三展示室		合 計			使用料 (円)
	利用 件数	利用 日数	利用 件数	利用 日数	利用 件数	利用 日数	延利用 件数	延利用 日数	入場者数	
4	5件	18日	2件	6日	件	日	7件	24日	2,039人	230,000円
5	5	21	2	8			7	29	2,425	230,000
6	5	21	4	13			9	19	2,834	145,000
7	4	17	1	2			5	33	1,347	125,000
8	5	18	3	12	1	3	9	33	3,827	165,000
9	6	22	2	11			8	33	2,330	115,000
10	7	22	1	1			8	23	1,859	195,000
11	6	23	2	6	1	2	9	31	2,159	105,000
12	5	19	5	9			10	28	1,660	55,000
13年1	4	15	4	7			8	22	1,412	205,000
2	5	16	4	10	1	1	10	27	1,287	130,000
3	5	24	4	4			9	28	2,325	135,000
合 計	62	236	34	89	3	6	99	331	25,540	1,835,000

(2) 展示内容

(単位：件)

内 容	件 数	内 容	件 数
絵 画	21	陶 芸	1
写 真	14	盆 栽	2
手 芸	8	水 墨 画	1
書 道	3	そ の 他	15
フラワーアレンジ	1		